



Grbl 制御のレーザー加工機（SCULPFUN S9）との通信ソフト

Grbl とのシリアル通信を利用して、レーザー加工機を操作できます。  
NC プログラムの作成には、CAD で描いた図形（DXF データ）を使う方法と文字のアウトラインを使う方法を考慮しました。

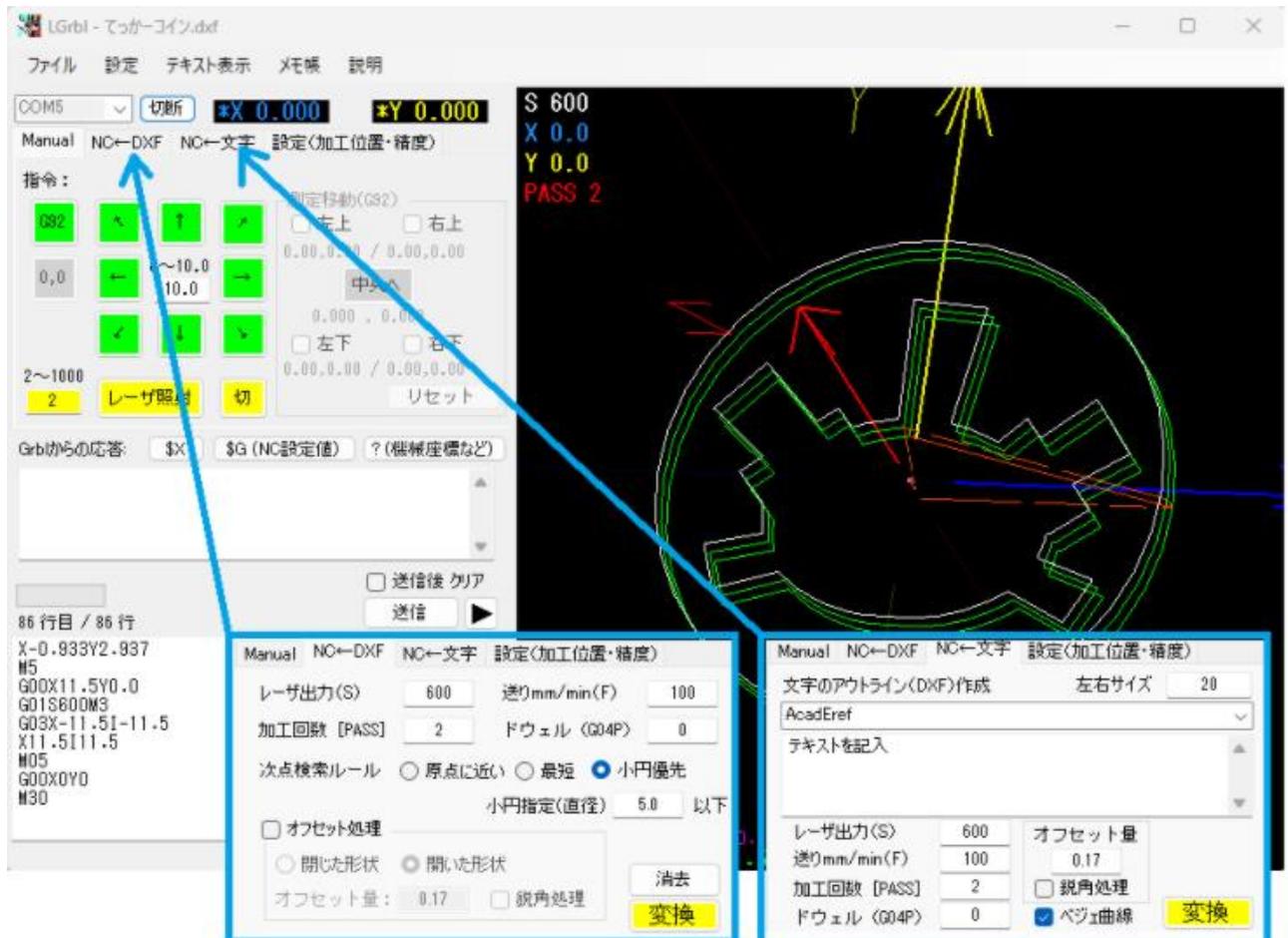
※ 図形は、LINE（線分）、ARC（円弧）、CIRCLE（円）、LWPOLYLINE（ポリライン）、ELLIPSE（楕円）、SPLINE（スプライン）を考慮してます。（楕円とスプラインは線分に近似して変換してます。）

### • LGrbl の画面 構成

下図に LGrbl の画面構成を示します。

- Manual（手動）のタブでは、早送り、レーザーを照射しながらのジョグ送りが可能です。
- NC ← DXF のタブでは、DXF データをレーザー加工用の NC プログラムに変換します。
- NC ← 文字のタブでは、フォントのアウトラインを // に変換します。  
作成された NC プログラムのレーザー軌跡は、右側の描画領域に表示確認ができます。

※レーザー加工機（SCULPFUN S9）とは、Grbl のコードを送受信する仕組みで制御してます。



NC ← DXF のタブ

NC ← 文字のタブ